

令和3年度山岳遭難救助研修会開催要項

1 目的

山岳遭難救助活動を行う組織の指導的立場にある者を対象として、遭難救助に関する知識と技術、救助活動の構成法及びその指導法について研修を行い、現場での即応力及び指導者としての資質の向上を目指す。

2 主催

独立行政法人日本スポーツ振興センター

3 後援

スポーツ庁

4 協力

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
北海道警察本部山岳遭難救助隊 岐阜県警察本部山岳警備隊
長野県警察本部山岳遭難救助隊 富山県警察本部山岳警備隊

5 期間

期間① 令和3年10月11日(月)～10月15日(金)の5日間

期間② 令和3年11月1日(月)～11月5日(金)の5日間

6 会場

独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立登山研修所 及び周辺山域
〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂6 TEL(076)482-1212 FAX(076)481-1534

7 応募資格と募集人員

(1) 応募資格

登山の基本的技術を修得している者のうち、各都道府県における山岳遭難救助組織の指導的立場にある者。(警察・消防・自衛隊および民間救助組織等において、山岳遭難救助に携わる者)

(2) 募集人員 各期間20名 ※参加者のレベル等に応じて班分けを行います。

8 研修日程及び内容等

日程	内容	研修場所
1日目	受付 7:30～ 講義1～3、班別研修、全体研修	国立登山研修所とその周辺
2日目から4日目	班別研修、全体研修、研修報告	国立登山研修所及び周辺山域
5日目	班別研修、研修総括 閉会式 14:30～	国立登山研修所及び周辺山域

※詳細な日程及び内容は、国立登山研修所ホームページ(<http://www.jpnsport.go.jp>)で確認してください。

9 個人装備

国立登山研修所ホームページ掲載の昨年度(R2)の装備表を参考にしてください。参加承認者には後日装備表を送付します。

10 参加申込方法

(1)所属長等(関係部局長、教育長、署長、会長等)は、下記の(ア)～(オ)をそろえて参加希望者を推薦し申込をしてください。

提出書類	備考
(ア)山岳遭難救助研修会の開催について【別紙1】	各都道府県の関係部局、その他所属団体の担当者が記入してください。
(イ)参加希望者個人票【別紙2】	<u>参加希望者本人が記入</u> してください。
(ウ)登山経歴書【別紙3】	
(エ)健康・体力調査票【別紙4】	
(オ)参加確認書【別紙5】	<u>参加希望者本人が署名</u> してください。

※申し込み提出書類の様式は、国立登山研修所ホームページからダウンロードしてください。

(2)申込方法 電子メールまたは郵送にてお申し込みください。

【電子メール】 tozanken@jpnssport.go.jp (必要書類をデータ添付してください)

【郵送】 独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所

〒930-1405 富山県中新川郡立山町芦峯寺ブナ坂6

(3)申込期間 令和3年8月2日(月)～8月27日(金) 必着

11 参加者の決定等

(1)関係機関(消防庁等)と国立登山研修所が参加申込書類をもとに協議の上選考し参加者を決定します。

(2)参加の可否については、推薦者と参加希望者双方に電子メールにて通知します。

(3)参加承認者には日程表、個人装備表、健康診断書(当所指定の様式に限ります。)、保険申込書、事前課題等の提出物を同封します。※健康診断書等の提出に必要な経費は参加者側の負担となります。天候や感染症の拡大等により研修会を中止した場合でも主催者側では負担いたしません。

12 参加費用

費用内訳	金額
(1)国立登山研修所における施設利用料(前泊含む全日程分)	2,000 円
(2)国立登山研修所における食費 (朝食 700 円×4 食、昼食 750 円×5 食、夕食 1,300 円×4 食の計 13 食分)	11,750 円
(3)傷害保険料 (公務災害で対応される方は申し込みの必要はありません)	4,000 円または 5,000 円
(4)諸費用(集合写真代)	950 円

※(1)～(4)は受付時に集金します(現金に限ります)。なお、金額は変更する場合があります。

13 参加申込の取り消しについて

参加申込後、何らかの理由によりやむを得ず申込を取り消す場合は、必ず推薦者から国立登山研修所に申込取り消しの理由等を連絡してください。

※原則として参加希望者本人から直接国立登山研修所への申込取り消しの連絡は受け付けません。

14 その他

・研修会に際し、報道機関の取材・撮影が入る場合があります。